



株式会社イシビキフォトワークス

いし びき りょう
石引 遼さん



蒼翠商会

つしま と き お
對馬 飛希男さん

このまちを
「起業」で
もっとおもしろく

「龍ヶ崎市の チャレンジャー」

Challenger of Ryugasaki city



アンフィル龍ヶ崎

たけ うち ひさ こ
竹内 寿子さん



トコシエ醸造株式会社

さとう たか ゆき
佐藤 敬之さん



なざわ バー
730 bar.

かなざわ か ず き
金澤 嘉瑞希さん

たけ うち ひさ こ
竹内 寿子さん

アンフィル龍ヶ崎 オーナー

友人宅のような気軽さで
ご利用いただけるサロンに

店舗情報



Profile

1960年、福島県生まれ。看護師、保健師、助産師、日本カイロプラクティック連合会会員。病院勤務を経て、保健センターで保健師の仕事に長年従事。2023年頃よりつくば市などで仲間と活動を始め、昨年独立し、「アンフィル龍ヶ崎」を開業。Match龍ヶ崎創業スクール2025受講。

健康の大切さを伝えたい

昨年6月に開業したアンフィル龍ヶ崎は、カイロプラクティックをメインとしたボディケアサロン。

オーナーの竹内寿子さんは、看護師、保健師、助産師の資格を持ち、河内町の保健センターで定年

までの約40年間、たくさんの方の健康を支えてきました。保健師として充実した日々を送る中で、「定年後も健康に関わる仕事がしたい」という気持ちが少しずつ芽生えてきた竹内さん。そんな時

出合ったのが、背骨や骨盤のゆがみ改善から体をケアするカイロプラクティックでした。「これだ！」とピンときた竹内さんは、定年後の独立を目指し、在職中からカイロプラクターの勉強を

スタート。無事、修了証を取得し、2023年頃よりつくば市を中心にカイロプラクティックの活動を始めました。

開業したきっかけは、自宅近く

で活動をしたと思っていたから。ただ、開業届を出したところまでは良かったものの、集客方法や帳簿管理など分からないことだらけ……。途方に暮れていた時、Match龍ヶ崎創業スクールの存在を知りました。

「創業スクールでは、事業計画について丁寧に教えてもらいました。事業だから利益を出さないといけないし、その計画を立てるのは自分なのだと、改めて学びました。市の創業促進事業補助金を広報費用に充てたことで、皆さんに知っていただけるようになったのもありがたかったです」と話します。

開業から約1年、リピーターも徐々に増えてきているそう。「体が楽になったよ」とお客さまに喜んでいただけるのが何よりのやりがい。今後は美容に関するメニューも取り入れ、幅広い年代の方に頼りにしてもらえるサロンを目指します」と笑顔を見せました。

大変だったこと…

仕事の幅が広い！ 当然ですが、広報も経理も自分の仕事。商工会の無料相談を活用したり、同業の仲間に相談したりして、何とか頑張っています。

よかったこと…

心も時間も自由に！ お客さまが施術を気に入って通ってくださるとやって良かったと思えます。仕事の時間が比較的調整しやすいのも起業の魅力！



問い合わせ

住所 龍ヶ崎市小柴2-1-3

北竜台ステラ番街 5-101

HP <https://lit.link/anfilyrugasaki>いし びき りょう
石引 遼さん

株式会社イシビキフォトワークス 代表取締役

被写体や依頼主の思いに
丁寧に寄り添い写真に残す

店舗情報



Profile

1988年、茨城県取手市生まれ。東京工芸大学芸術学部写真学科卒。第29回全国高等学校総合文化祭出場、第49回全国写真展覧会準特選1位。学校行事やイベント撮影を中心に、個人の記念撮影やプロフィールフォト撮影など、出張撮影からスタジオ撮影まで幅広く対応。Match龍ヶ崎創業スクール2025受講。

目の前のお客さまを大切に

取手市にある石引写真館の次男として生まれた石引遼さんにとって、写真は物心付いた時から身近にあるもの。「家族で外出する時には、きょうだいそれぞれにカメラが渡されました。子どもながらに『いいな』と感じたものを気の向くままにフレームに収める。父から何か言われた記憶はありませんが、当時の写真をきちんとアルバムに残してくれているので、喜んでくれていたのかもかもしれません」と石引さんは話します。そんな少年時代を過ごした石引さんは、迷うことなく写真の道へ。高校は写真部に入部、大学は写真学科へ進学、卒業後は家業を手伝うようになりました。

「石引写真館は兄が継いだので、漠然とですが常に独立は意識していました。少しずつその決意は固まり、2025年に(株)イシビキフォトワークスを設立。大学の同窓生でもある妻・亜沙

美さんと二人三脚で、人生の節目や行事に寄り添う、出張撮影サービスを始めました。独立したことで仕事の向き合い方にも変化があったと言います。「依頼主を喜ばせたいという気持ちで、以前より強くなりました。例えば、学校行事の撮影では、会話や遊びも一緒に楽しむ、子どもの視点に共感する……。より良い写真を撮るため試行錯誤を重ねています」。

当初は自宅兼事務所でしたが、市内でも由緒ある物件を親族から譲り受け、今年4月に移転オープン。スタジオ撮影にも対応できるようにしました。市の創業促進事業補助金を活用することで、改装費用の負担が軽減されることも後押しになったと振り返ります。

「いずれは地域を盛り上げる取り組みもしていきたい」と石引さん。「先祖が守ってきたこの場所で、地域への恩返しをしていきたい」と意気込みます。

大変だったこと…

経理や財務も全て担当 初めての決算は、分からないことだらけでバタバタでした。資金繰りなど考えることが多くなる点は起業の大変さだと感じます。

よかったこと…

仕事がいっぱいになった 仕事に対するモチベーションがアップ。学校での撮影なら先生に負担がかからないようにするなど、気配りも大切にしています。



問い合わせ

住所 龍ヶ崎市下町4901

HP <https://ishibiki-pw.com/>

かな ざわ か ず き
金澤 嘉瑞希さんな ざ わ バ ー
730bar. 代表公務員からバーのオーナーへ
人生を懸けた大きな挑戦

駅前に憩いのバーを開店

龍ヶ崎市駅西口から徒歩30秒の場所に、この4月オープンした730bar.。とにかく気楽に、誰もがいい意味で『テキトーに』過ごせる、そんな場所を目指しています」と話すのは、27歳の若さで一國一城のあるじとなった金澤嘉瑞希さん。

金澤さんの前職は龍ヶ崎市役所の職員。公務員という比較的安定した立場から起業に至った理由を尋ねると、「思い返せば子どもの頃から、『自分にしかできない何かをやりたい』という気持ちが胸の奥にあったんですね」との答え。ただ、それが何なのか、金澤さん自身も就活のタイミングでは分かりませんでした。実際に働いてみると市の仕事にやりがいを感じつつも、自分の考えを自身の手で形にしていくなかで、起業への憧れが日に日に強くなったと言います。

「経営初心者だから、やるならモノやお金の流れがシンプルなビ

ジネスがいいんじゃないかと。加えて自分は人とお酒が好き。地元の人がいっぱい集える店をやるうと決めました」と金澤さん。開業に当たり、龍ヶ崎市の創業支援も活用しました。「昨春秋のMatch龍ヶ崎創業スクールに参加しました。講義内容がためになったのはもちろん、退職後に開店準備を始めた時、創業促進事業補助金を頂けたのが本当に助かりました」と話します。たまたま巡り合った新築物件の内装費用の一部を、創業支援の一環で市に助成してもらえたことで、金澤さんが思い描いた理想の空間が実現しました。

「両親、友人、役所時代の同期や先輩、たくさんの方が応援してくれています。自分らしくその期待に応えたい」と語る金澤さん。少しずつ新規のお客さんや常連さんも増えつつあるとのこと。金澤さんの挑戦は、市役所職員とはまた違う形での、地域貢献といえるでしょう。



問い合わせ

住所 龍ヶ崎市小通幸谷町553-18
ラボテナントB
TikTok @730bar_

大変だったこと…

プレッシャーを感じたことも オープン前は不安に押しつぶされそうに…。曜日や天気によって客足に差があるということもやってみて初めて分かりました。

よかったこと…

人のありがたさを実感! 自分がいかに人に支えられているのかを改めて感じました。また、経営者になることで、アイデアをすぐ形にできるスピード感も気に入っています。

店舗情報



Profile

1999年、茨城県那珂郡東海村生まれ。流通経済大学入学を機に龍ヶ崎市へ。大学ではサッカー部に所属。卒業後は龍ヶ崎市役所に入庁、在職中は二つの部署を経験する。2026年4月に龍ヶ崎市駅前に「730bar.」をオープン。店名は学生時代のニックネームから。Match龍ヶ崎創業スクール2025受講。

珠玉の一杯で地元を元気に

「ワインでいう『テロワール』のように、その土地の風土や気候の違いが味や風味に感じられる。そんなビールを造りたくて地元・龍ヶ崎に醸造所を構えました」。そう話す佐藤敬之さんが手がけるのは、近隣で取れる米や果物なども取り入れた独創的なクラフトビール。2025年12月の開業から通算12アイテムを生産、併設のタッブルームでは常時5種が味わえます。ビールの主原料は、水・麦芽・ホップ・酵母。シンプルながらもその種類や配分、発酵方法によって幾通りもの味わいが生まれる飲み物です。例えば、ホップの種類が変われば苦味や香りも変わります。そうした違いを数値化し、イメージした味わいを生み出す。それがビール造りの楽しさですね」と笑顔。

品紹介文やラベルデザインも佐藤さんが担当。「まずは、『飲んでみたい』と興味を持ってもらえるような仕掛けも大切にしています」とこだわりを教えてくださいました。

修業時代から、「独立するならば龍ヶ崎で」と考えていた佐藤さん。そんな中で知ったのがMatch龍ヶ崎創業スクールでした。「事業計画の立て方やマーケティング方法など基本が学べて、頭の中で描いていた構想が具体化できました」。受講後に特定創業支援等事業に認定されたことで、法人登記料の軽減といったメリットもあったと言います。

佐藤さんが目指すのは「ドリンカブル（どんなに飲める）」な一杯。「とこしえは『永久』という意味。奥深いビールの世界を追求し、龍ヶ崎市の地ビールとして長く愛されるブランドへと成長させていきます」と決意を語りました。

大変だったこと…

一人で何役もこなす 設備の清掃・管理や酒税法で必要な記録、販売まで全て一人でやっています。華やかに見えるビール醸造はほんの一部ですね(笑)。

よかったこと…

思い立ったらすぐ醸造 造りたいビールのイメージが湧いたら、すぐに材料を発注し、醸造に入れること。フットワーク軽く挑戦できます。



問い合わせ

住所 龍ヶ崎市米町4565-1
アーバンパレス竜ヶ崎 102号室
HP <https://tokoshiebrewing.jp/>

さ と う た か ゆ き
佐藤 敬之さん

トコシエ醸造株式会社 代表取締役

地産地消にもこだわった
おいしいビールを生み出す

店舗情報



Profile

1981年、茨城県龍ヶ崎市生まれ。IT企業を経て、千葉県浦安市のブルワリー「ハーヴェスト・ムーン」へ。ビール製造のいろはを学ぶ。2024年8月にトコシエ醸造株式会社を設立し、2025年12月関東鉄道竜ヶ崎駅近くに、タッブルーム併設の醸造所を開業。Match龍ヶ崎創業スクール2021受講。

つしまときお
對馬 飛希男さん

蒼翠商会 代表(UNDER NESTオーナー)

「カッコいい」を極めて、
人と人をつなげていきたい

店舗情報



Profile

1993年、東京都葛飾区生まれ茨城県稲敷郡河内町育ち。祖父の代から建築関係の自営業を営む。現在は、平日はとび職人、週末は「UNDER NEST」のオーナー、さらにボランティア活動と三足のわらじを履く。趣味は映画鑑賞、バイク、カスタムカー。カスタムカーに関する投稿が人気のInstagram(@undernest_69)も配信。Match龍ヶ崎創業スクール2025受講。

古物商許可証 茨城県公安委員会第401140001923号

趣味が高じて店をオープン

車のカスタムパーツをはじめ、2000年代のアパレルや雑貨、アート作品などがズラリ。ここ「UNDER NEST」は「観る・着る・飲む」をコンセプトに、オーナーである對馬飛希男さんの理想が詰まったセレクトショップです。「自分でこつこつと収集したアイテムもあれば、販売用に仕入れたもの、オリジナル品などいろいろです。全て僕自身が大好きな、バイクやアメ車とそのカルチャーの延長にあるものですね」と、武骨な見た目と対照的に、柔和な口調で話す對馬さん。実は對馬さん、カスタムカー界隈ではちよつとした有名人。営業は土日のみ、駅から離れた立地にもかかわらず、SNSのフォロワーを中心に県外からも多くの人が訪れます。

高校卒業後は家業を継いだとび職人に。その傍らで、趣味にも全力投球。気付けば集まっていた、たくさんのパーツや雑貨を販売しようと、2025年に蒼翠商会を設立。今年4月に実店舗をオープンしました。

受講したMatch龍ヶ崎創業スクールでは、起業を目指す参加者の「ヴァイブス(空気感)」に、刺激を受けたという對馬さん。

對馬さんの原点は映画。「中学生の時に見た『バットマン』でバイクに夢中に。高校生の頃、『ポティ

対馬さんの原点は映画。中学生の時に見た『バットマン』でバイクに夢中に。高校生の頃、『ポティ

大変だったこと…

価格設定が悩み 起業している仲間も多いので気負わず開業に挑戦できました。ただ、ヴィンテージが中心なので商品の値付けにはとても悩みます。

よかったこと…

共鳴が集まる 自分のセンスで選んだ品を「好き」と言ってもらえることがうれしい。憧れのアーティストが手がけてくれたロゴ看板も自慢です！



問い合わせ

住所 龍ヶ崎市南が丘1-3-1

HP <https://bossup69.base.shop/>

※営業日時はInstagramを参照

「起業したい」気持ちを応援！

龍ヶ崎市の創業支援

龍ヶ崎市では、起業家を応援するさまざまな取り組みを行っています。今回はその一部をご紹介します。

女性の創業交流会

先輩たちのリアルな声が聞ける

先輩女性起業家の実体験を通して、創業への不安や疑問を解消し、新たな一步を踏み出すきっかけづくりを目的とした交流会を開催しました。当日は、先輩女性起業家によるリアルな創業体験談を聞いた後、ランチを楽しみながら参加者同士で交流や情報交換を行いました。創業に関する悩みや思いを共有しながら、新たなつながりを築く貴重な機会となりました。

創業に興味のある方や、これから起業に挑戦したいと考えている女性にお薦めの交流会です。



創業スクール

創業の基礎知識が学べる

創業を目指している方や創業して間もない方を対象に、創業の基礎知識から売り上げアップの考え方、事業計画の作成方法など実践的に学べる講座です。創業支援の専門家が分かりやすくサポートし、創業への不安や疑問を解消しながら、一步踏み出すための知識を身に付けることができます。また、一定回数以上受講された方には修了証が交付され、会社設立時の登録免許税の軽減や創業融資の優遇などの特典も受けられます。創業を検討している方や、事業を軌道に乗せたい方向けのセミナーとなっています。



創業フェス

市内起業家が
出展するブースを楽しむ

昨年、市内で活躍する起業者たちが集い、食・体験・交流を楽しめるイベントを初めて開催しました。当日は、飲食店やマッサージなど個性あふれるブースが並び、料理教室をはじめ、親子で楽しめる体験コンテンツも充実しました。

今年も、11月21日(土)に多世代交流センターRINKを会場として、開催を予定しています。

